

第109号

発行：議会改革等に関する調査特別委員会
編集：うらそえ市議会だより編集委員会
〒901-2501
沖縄県浦添市安波茶1-1-1
TEL(098)851-5057
FAX(098)877-4826

うらそえ市議会だより



第179回定例会の様子

第179回 定例会の概要 及び経過

第179回定例会は、12月1日招集、12月20日閉会の20日間の会期で開かれました。

初日は、平成28年度浦添市一般会計・特別会計（国保・区画・下水道・介護・後期高齢者医療・水道事業会計の各補正予算、条例議案など計17件の議案について提案理由が説明されました。また7日には議案第82号及び第83号が追加上程されました。

12月7日から始まった一般質問では、23人の議員が福祉、教育、西海岸開発等市政全般に及ぶ課題について活発な議論が展開されました。

12月14日、冒頭で議員提出議案第10号が追加上程され採決の結果、全会一致で原案のとおり可決しました。その後、市長提出議案の審議に入り、平成28年度一般会計補正予算（第3号）を賛成多数で原案のとおり可決しました。特別会計（国保・区画・下水道・介護・後期高齢者医療、水道事業会計の各補正予算及びその他の議案については本会議で質疑を行った後、各常任委員会に付託しました。また、議員提出議案第11号が追加上程され採決の結果、全会一致で原案のとおり可決しました。

り可決しました。

12月20日の最終日は、冒頭で議員提出議案第13号及び第14号が追加上程され採決の結果、全会一致で原案のとおり可決しました。各委員会へ付託した議案について各委員長からの報告、質疑、討論、採決を行い、その結果、議案第66号から第77号、第82号を原案可決、議案第78号から81号、第83号を可決しました。

平成27年度決算認定議案については、委員長報告、質疑、討論、採決を行い、一般会計、5特別事業会計を認定し、水道事業会計については原案可決及び認定としました。また、議員提出議案1件を原案可決し、陳情6件を採択及び趣旨採択しました。

最後に各常任委員会からの陳情の閉会中継続審査の申し出を承認し、第179回定例会を閉会しました。

12月定例会の一般質問の概要は、2ページから8ページに掲載しています。

12月定例会審議日程

2019年11月24日（木）	第179回定例会告示 議会運営委員会
12月1日（木）	開会 議案第65号（第81号上程） （提案説明） 全員協議会（散会後）
2日（金）	6日（火） 休会（議案研究） 本会議 一般質問（5人） 議案第82号及び第83号追加上程（提案説明）
7日（水）	本会議 一般質問（5人） 議案第82号及び第83号追加上程（提案説明）
8日（木）	議会運営委員会（開会前） 本会議 一般質問（5人） 本会議 一般質問（5人）
9日（金）	本会議 一般質問（5人） 議会運営委員会（休憩中） 本会議 一般質問（3人）
13日（火）	本会議 一般質問（3人） 議会運営委員会（散会後） 議員提出議案第10号追加上程（説明聴取）表決
14日（水）	議案第65号（質疑）表決 議案第66号（第83号） （質疑）所管委員会付託 議会運営委員会（休憩中3回開会） 議員提出議案第11号追加上程（説明聴取）表決
15日（木）	休会 総務委員会・福祉委員会 文教委員会・建設委員会 休会
16日（金）	議会改革等に関する調査特別委員会 休会 事務整理日 議会運営委員会（開会前） 議員提出議案第13号及び第14号追加上程（説明聴取）表決 本会議
2019年12月9日（火）	議案第66号（第83号） （委員長報告）表決 議案第47号（第53号） （委員長報告）表決 陳情上程（委員長報告）表決 議員提出議案第12号（説明聴取）表決 閉会中継続審査の申し出 閉会



12月定例会の 主な 議案概要

平成27年度各会計 決算を認定

平成27年度一般会計歳入歳出決算認定議案は、一般会計決算審査特別委員会において、平成28年10月5日から10月19日までの実質8日間にわたり審査を行いました。一般会計の歳入決算額は、前年度より19億4,432万2,155円(4.36%)増の466億2,744万2,644円。歳出決算額は、前年度より16億6,782万2,650円(3.82%)増の452億9,151万3,030円。歳入歳出差引額は13億3,592万7,234円となっています。

決算が示す諸指標で見ると、財政力指数が0.73(前

年度0.72)、経常収支比率が87.0%(同87.2%)、実質公債費比率が8.8%(同9.3%)となっています。

一般会計決算については、12月定例会最終日において、委員長報告、質疑、討論後の採決で賛成多数で認定しました。

また、各特別会計の決算(国民健康保険・区画整理・下水道・介護保険・後期高齢者医療)については、各常任委員会での審査結果が報告され、質疑、討論及び採決の結果、すべて認定しました。水道事業会計利益の処分及び決算認定についても原案可決及び認定しました。

次に、一般会計と5特別会計の歳入決算総額は740億7,782万7,465円、歳出決算総額は723億5,884万8,121円となっておりです。

各々の歳入歳出決算額は下記の『平成27年度一般会計・各特別会計・水道事業会計決算状況』のとおりです。

平成27年度一般会計・各特別会計・水道事業会計決算状況

一般会計	歳入	466億 2744万 264円
	歳出	452億 9151万 3030円
国民健康保険特別会計	歳入	161億 2005万 6674円
	歳出	161億 173万 9186円
土地区画整理事業特別会計	歳入	21億 2840万 6360円
	歳出	20億 9841万 662円
公共下水道事業特別会計	歳入	20億 1685万 5300円
	歳出	18億 4587万 4745円
介護保険特別会計	歳入	62億 7603万 3451円
	歳出	61億 5792万 6610円
後期高齢者医療特別会計	歳入	9億 903万 5416円
	歳出	8億 6338万 3888円
水道事業会計	収益的収入	26億 3698万 9632円
	収益的支出	24億 5660万 5569円
	資本的収入	億 7650万 7030円
	資本的支出	3億 1572万 5306円

【一般質問】

12月定例会の一般質問につきましては、紙面の都合上、主な内容を要約して掲載しております。

なお、詳しい内容は会議録をご覧ください。議会ホームページで会議録検索システムをご覧ください。

※各議員の原稿枠内にあるQRコードにつきましては、掲載された一般質問を行った際の録画映像へアクセスするためのものです。スマートフォン・タブレット端末等で視聴ができますので、ごらんください。

又吉 栄



○伊祖前田線(大公園遊具場入口)に横断歩道を設置することについて
○高齢者の運転事故防止対策について



←録画映像はこちらから

議員 伊祖前田線に横断歩道を設置することについて
都市建設部長 浦添大公園のふれあい広場を利用される公園利用者も多く、出入り口付近では道向かいの駐車場等の行き来で道路横断者が多い状況である。公園管理者である沖縄県では、駐車場と遊具広場の連絡路として、市道伊祖前田線をまたぐ形で歩道橋の設置を次年度より工事発注する計画と伺っている。また市道西原伊祖線との交差点付近の歩行者横断にかかる注意喚起のための路面表示については、既に警察署との協議も終了し、来年1月に本市で設置工事に着手する予定である。

議員 高齢者の運転事故防止対策について
市民部長 高齢者の運転事故対策としては、運転免許センターや、各自動車学校

等において、運転免許の更新期間満了日に満年齢が70歳以上の人は、高齢者講習を受けることが義務付けられており、その際、加齢に伴う身体能力の変化に気づき、変化に応じた慎重な運転を必要とすることを講習しており、また浦添警察署、浦添地区交通安全協会では、事件、事故に巻き込まれないための啓発グッズの活用であるとか、各老人クラブに安全運転に関する出前講座等を行っており、また沖縄県警では免許証の自主返納者への支援制度として県内バス4社、沖縄都市モノレールの運賃を50%割引、そしてタクシー運賃の10%割引などの配慮をしている。本市としては警察署や関係団体等と連携し、高齢者運転事故に関する注意喚起を図り、事故の未然防止に向け引き続き取り組んでいく。

上江洲 徹也



- 小湾川沿い交差点事故防止対策
- 神森中学校線のカラー舗装等安全対策
- 待機児童解消臨時的受入強化
- 桑を使った食育の取組
- 図書館行政
- 小学校のトイレ洋式化



←録画映像はこちら

議員 小湾川沿い宮城7号線の交差点で多発する事故防止対策の取組について

都市建設部長 路面の交差点のところを少し赤い舗装をし、中央に白い十字をマーキングして安全確保を考えている。歩道を確保するための連続ボール設置検討。

議員 神森中学校線、宮城60号線交差点のカラー舗装等、安全対策について

議員 注意喚起の路面標示等対策を考える。生徒が横断するときのカラーでの誘導路ができないかどうか、早急に路面表示の設置を考えていきたい。

議員 待機児童解消に向けて、保育園の臨時的な受け入れ強化の取組について

市長 本市では10月1日現在、この制度を利用し、158人の児童を認可保育園で受け入れている。今後とも認可保育園と調整の上、待

機児童解消施策として積極的に実施に努めます。

議員 認可保育園との調整事項は、各園の意見があれば状況に合わせて、変更も可能と考えていいですか。

福祉部長 改めて今年度、法人園長会の中で議題として検討してまいります。

議員 地産地消や地域ブランドを目指す桑を使った食育の取り組みについて。

経済観光局長 NPO団体が桑茶の粉末を使ったレシピを毎月社協だよりにて紹介していただいている。桑を活用した特産品が食育の機会を通して、市を代表とする地域ブランドとして定着するよう取り組みます。

議員 浦添市内小学校のトイレの洋式化について。

教育部長 古い学校もございまして、当然早期に洋式化の設置率が上がるよう取り組みます。

浦崎 猛



- 平成28年度全国学力・学習状況調査結果について
- 浦西中学校バックネットの改修について



←録画映像はこちら

議員 平成28年度全国学力・学習状況調査の結果について、国語A、B、算数A、Bを全国都道府県別正答率で順位を比較すると、浦添市の国語Aは16位、国語Bが10位、算数Aは1位、算数Bは8位。広報うらそえ11月号によると、浦添市では授業内容方法の質の向上を研究し、今までの教える授業から、児童生徒が主体的に考える授業へ転換していくことなのか。

議員 授業、づくりの転換とは、教師主導の教え込む授業から、教師と児童生徒が一緒に考える授業に変えていくということですか。

指導部長 授業、づくりの転換とは、教師主導の教え込む授業から、教師と児童生徒が一緒に考える授業に変えていくということですか。

議員 授業、づくりの転換とは、教師と児童生徒が一緒に考える授業に変えていくということですか。

議員 授業、づくりの転換とは、教師と児童生徒が一緒に考える授業に変えていくということですか。

議員 授業、づくりの転換とは、教師と児童生徒が一緒に考える授業に変えていくということですか。

議員 授業、づくりの転換とは、教師と児童生徒が一緒に考える授業に変えていくということですか。

議員 授業、づくりの転換とは、教師と児童生徒が一緒に考える授業に変えていくということですか。

て自分と他者の考えを比較しながら、自分の考えを明確にさせ、多くの問題を解き、確実に学習内容を習得してもらう学習プロセスとなります。補習指導や学習指導の取り組みを通して、学びの定着を確かめるものにする。

議員 浦西中学校バックネットの改修は、今年度にやるのか、次年度にやるのか。

教育部長 基本的には今年度中に何とか対応したいと考えているので、取り急ぎ作業に入っていきたいと考えています。

議員 授業、づくりの転換とは、教師と児童生徒が一緒に考える授業に変えていくということですか。

議員 授業、づくりの転換とは、教師と児童生徒が一緒に考える授業に変えていくということですか。

議員 授業、づくりの転換とは、教師と児童生徒が一緒に考える授業に変えていくということですか。

議員 授業、づくりの転換とは、教師と児童生徒が一緒に考える授業に変えていくということですか。

議員 授業、づくりの転換とは、教師と児童生徒が一緒に考える授業に変えていくということですか。

議員 授業、づくりの転換とは、教師と児童生徒が一緒に考える授業に変えていくということですか。

松下 美智子



- 日本語教育支援について
- スポーツ振興について
- 新たな市民テニスコートの建設について
- 防犯カメラの設置について
- 犬・猫殺処分ゼロの取り組みについて



←録画映像はこちら

議員 日本語教育支援について、日本語教室を設置した成果と次年度の取り組みについて伺う。

指導部長 今年度港川小学校に日本語教室が設置され、担任として小学校教諭が加配となり8人の児童を支援し、必要な支援を厚く行えるようになった。次年度も日本語教育支援員4人の配置を計画。日本語教室加配教諭の配置を要請。支援対象の児童生徒の実態に応じた必要な支援を行ってみたい。

議員 前田公園に公式試合のできるテニスコート建設の要望があることについて伺う。

市長 先日も市民の代表の皆様から要望書を受け取った。これから教育委員会を初め関係部署と協議をし、整備に向けて検討を進めたい。

議員 悪質な不法投棄を防止するため防犯カメラの設置の取り組みについて伺う。

議員 悪質な不法投棄を防止するため防犯カメラの設置の取り組みについて伺う。

議員 悪質な不法投棄を防止するため防犯カメラの設置の取り組みについて伺う。

議員 悪質な不法投棄を防止するため防犯カメラの設置の取り組みについて伺う。

議員 悪質な不法投棄を防止するため防犯カメラの設置の取り組みについて伺う。

議員 悪質な不法投棄を防止するため防犯カメラの設置の取り組みについて伺う。

議員 悪質な不法投棄を防止するため防犯カメラの設置の取り組みについて伺う。

議員 悪質な不法投棄を防止するため防犯カメラの設置の取り組みについて伺う。

議員 悪質な不法投棄を防止するため防犯カメラの設置の取り組みについて伺う。

議員 悪質な不法投棄を防止するため防犯カメラの設置の取り組みについて伺う。

議員 悪質な不法投棄を防止するため防犯カメラの設置の取り組みについて伺う。

議員 悪質な不法投棄を防止するため防犯カメラの設置の取り組みについて伺う。

議員 悪質な不法投棄を防止するため防犯カメラの設置の取り組みについて伺う。

議員 悪質な不法投棄を防止するため防犯カメラの設置の取り組みについて伺う。

亀川 雅裕



○(仮称)産業まつりについて ○工事入札の件について

←録画映像は
こちらから

議員 これまでの進捗状況と課題について

市長 産業まつりは本市産業をアピールするよい機会であり、地域経済の活性化につながる有効な手段として考えておりますが、実施時期や場所など、さまざまな実施形態があり、現在その手法を含め検討している。

議員 最近工事入札の不調が多発していると聞いているが、それについて説明下さい。

総務部長 本市の工事につきましては、これまで実施してきました早期発注を推進しつつ、発注時期の平準化や複数年度にまたがる契約方式の実施検討及び最新単価の活用など、適正な積算を引き続き実施することにより、適正な入札が確保できるような関係部局と連携を図りながら進めていく。

當間 清春



○浦添南第二地区区画整理事業について ○教育行政について

←録画映像は
こちらから

議員 今後の区画整理事業の進め方を伺う。

都市建設部長 住宅先行地区を含めた小湾川周辺の宅地造成及び区画道路等の整備を行い、早期の住宅建築等が可能となるように事業に取り組んでいく。

議員 整備事業の進捗状況と年間予算を伺う。

都市建設部長 平成27年度末現在、全体の約7%の整備率で、平成28年度を含めると約7.9%の面整備率見込みである。今年度の事業費は3億9809万4000円となっている。

議員 沢岬小内児童クラブ設置を伺う。

福祉部長 現在のところ近隣に活用が検討できる公有財産も見当たらないため、市学童保育連絡協議会等とも連携し、公的施設の整備の可能性を検討しているところである。

議員 沢岬小、宮城小の雨漏りは改善されたのか伺う。

教育部長 沢岬小については、計画している最中である。年度内の対策を講ずる予定で、宮城小については、次年度早々、対策を購する予定である。

議員 老朽化した校舎の建てかえ計画は無いというが、学習環境に格差が生じてないか伺う。

教育部長 洋式トイレの推進や改修等を加えながら、教育環境に格差がでないように努めていく。

議員 築30年以上の学校が4校で当山の分離新設校合わせて5校あるが、建てかえ新設の優先順位を伺う。

教育部長 当山小は、まだ分離新設までに至っていない。4校については公共施設総合管理計画の個別計画で位置づけしていく予定である。

仲里 邦彦



○機能別消防団員の設置 ○発達障がい者支援と施設建設 ○雇用対策協定について ○防犯カメラの設置の提言 ○西海岸開発浦添市素案の推進について ○オリオン通りの残地補償

←録画映像は
こちらから

議員 災害時の活動は初期出動が多く住民の生命を守る役目を果たすもので、機能別消防団の設置が必要ではないか。

消防長 地域防災力の向上に寄与される機能別消防団員の設置について、重要な取り組みだと認識しているので検討したい。

議員 発達障がい者支援施設の建設について

福祉部長 親子通園型の「たんぽぽ園」について登録者数が増加の状況がある。発達障がい者の支援の施設建設が可能。一般会計で防衛省の補助金を活用した一般会計にまちづくり構想策定支援事業に予算を計上する。

議員 安心安全なまち浦添市の実現のため公供施設に防犯カメラの設置を提案する。

市民部長 犯罪の未然防止

対策と地域住民の安心感の醸成のため防犯カメラの設置は有効である。

議員 市民のほとんどがキャンプキンザー返還計画のない時の計画である旧案と浦添市素案とどれがいいかと尋ねたら全員が浦添素案が良いと言うが、第2ステージ「浦添市素案」の推進について伺う。

議員 浦添市素案を目指した施設整備計画及び浦添ふ頭地区における那覇港港湾計画の改定が早期に策定できるよう取り組んでいく。

議員 オリオン通りの道路拡張計画と進捗状況と工事に伴う残地補償について

都市建設部長 残地の価格の減少分について公共用地の取得に伴う損失補償基準により残地補償を行う。

下地 秀男



- 沢岷小学校・幼稚園の建て替えの諸課題について
- 農道12号線と市道沢岷2号線の道路拡幅と歩道の設置について
- 事業系ごみ収集運搬について
- コミュニティバスについて



←録画映像はこちら

議員 沢岷小学校と沢岷幼稚園の建て替えの諸課題と周辺の環境整備について伺う。

議員 沢岷小学校と沢岷幼稚園の建て替えの諸課題と周辺の環境整備について伺う。

教育部長

学校校舎の建て替えにつきましては、文部科学省からも公共施設等総合管理計画に基づく個別施設計画を平成32年までに策定するよう求められており、当該校舎の建て替えにつきましても、個別施設計画の中で検討してまいりたい。

沢岷小学校の洋式トイレの設置状況につきましては、学校全体といたしましては22.7%の設置率となっている。洋式トイレの必要性を十分認識しているため、児童生徒、園児等にとって良好な施設環境が確保できるように取り組んでまいりたい。

議員 昭和薬科大学附属高校に沿った墓との間を通

与那原 良明



- 沢岷石嶺線整備について
- ファミリーマート経塚店前に横断歩道設置について
- 経塚橋西側草刈について
- ゆいまーるセンター前防災倉庫の移設について



←録画映像はこちら

議員 南第二土地区画整理事業沢岷石嶺線の整備予定について伺う。

都市建設部長

地区全体の計画的な道路整備や宅地造成、排水処理等を勘案しながら、一部区間でも早急な整備ができないか、鋭意努力してまいりたい。

議員 県道153号線ファミリーマート経塚店前三差路に横断歩道の設置ができないか伺う。

市民部長 浦添警察署には毎年要請書を提出し、信号機、横断歩道設置の働きかけを行っておりまして、今年も6月6日付けで市長の副申書を添え、浦添警察署に要請を行ってきたところ

議員 浦添警察署に要請を行ってきたところ

議員 浦添警察署に要請を行ってきたところ

議員 浦添警察署に要請を行ってきたところ

議員 浦添警察署に要請を行ってきたところ

議員 浦添警察署に要請を行ってきたところ

市長 平成20年度には浦添市まちづくりプラン賞を受

比嘉 武宏



- 防犯カメラを設置
- パーキングパーミット制度導入
- 消防行政における多言語コールセンターサービス
- 浦添市民体育館の整備
- カリーミージー周辺の公園整備事業



←録画映像はこちら

議員 カリーミージー周辺の海浜公園整備事業について

市長 本年度より2年間をかけて基本構想・基本計画、実施計画などに取り組み30年度以降の事業化を目指している。

議員 防犯カメラ設置について伺う。

市民部長 犯罪の未然防止対策と地域住民の安心感の醸成のために防犯カメラは極めて有効、特に浦添警察署及び関係団体と共に地域から防犯カメラ設置要望があるのかどうか要望の把握をして安心安全な街づくりに努めたい。

議員 パーキングパーミット制度導入について伺う。

福祉部長 公共施設、大型店舗などに歩行困難な方が車を駐車スペース、身体障がい者用駐車場を確保し妊産婦や高齢者等歩行困難な方にも許可書を発行するこ

議員 パーキングパーミット制度導入について伺う。

議員 パーキングパーミット制度導入について伺う。

議員 パーキングパーミット制度導入について伺う。

議員 パーキングパーミット制度導入について伺う。

議員 パーキングパーミット制度導入について伺う。

議員 パーキングパーミット制度導入について伺う。

議員 パーキングパーミット制度導入について伺う。

議員 パーキングパーミット制度導入について伺う。

とで利用者が明確になる、本市としてもこの制度を研究する。

議員 消防行政における多言語コールセンターの取り組みについて伺う。

消防長 外国人からの119番通報に対して相手が外国人でなかつ、日本語での疎通がとれない場合に外国人通報者と消防としてコールセンター通訳が同時に通話できるシステムです。

議員 浦添市民体育館の整備について伺う。

議員 浦添市民体育館の整備について伺う。

議員 浦添市民体育館の整備について伺う。

議員 浦添市民体育館の整備について伺う。

議員 浦添市民体育館の整備について伺う。

議員 浦添市民体育館の整備について伺う。

議員 浦添市民体育館の整備について伺う。

議員 浦添市民体育館の整備について伺う。

議員 浦添市民体育館の整備について伺う。

議員 浦添市民体育館の整備について伺う。

議員 浦添市民体育館の整備について伺う。



真栄城 玄誠

- 子どもの貧困対策について
- 認可外保育園の支援
- 内間小学校屋外トイレの整備について
- 浦添ふ頭南地区の利用状況
- 国際センターの機能活用について



録画映像はこちらから

議員 子どもの貧困対策についてお聞かせ下さい。

福祉部長 13カ所の居場所

がつくられ、食事の提供や生活指導、学習支援キャリア支援等の取り組みを行っています。

議員 未来のある子供達が希望を持って進める体制を今後とも築いて頂きたい。

議員 認可外保育園が行う入園式や卒園等の場合に施設の規模が小さく対応出来ない場合の支援状況をお聞かせ下さい。

福祉部長 公共施設を利用して頂きたい。利用料等を減免する措置は講じている。

議員 内間小学校の屋外トイレについて、次年度に対応すると言うことですが、児童に支障がないよう早急に対応願いたい。

議員 浦添市の少年野球の状況を見ますと、近場に適当なグラウンドがなく

て困っていると言う話をよく聞きます。この南緑地を子供達に優先して使用させる方法がありましたらお聞かせ下さい。

西海岸開発局長 整備について那覇港管理組合に確認し、検討して行きたいと言う回答を得ています。

議員 沖縄国際センターの機能を活用し、国際性に富んだ産業や人材の育成についてお聞かせ下さい。

企画部長 市独自として、人材の派遣などは実施して御座いませんが、民間企業においては、水道事業の技術者として派遣されていると伺っています。

議員 国際センターとの交流だけではなくてもっとJICAの活用方法があると思います。その辺を調査検討して、浦添市の国際性に向けた取り組みを推進して頂くことを要望いたします。



下地 恵典

- てだこ浦西駅周辺開発について



録画映像はこちらから

議員 浦添スマートシティ基盤整備会社の設置及び目的について伺う。又、沖縄開発金融公庫が1億9000万円もの出資をした事実から、浦添スマートシティ基盤整備会社への増資と

その効果について、どのように評価しているのか、地元金融機関の取り組み状況等も改めて伺う。又、温暖化ガス排出削減と関係者から分散型エネルギーの導入効果及びパリ協定等関係についてはどうに考えているか。

都市建設部長 スマートシティ開発により経済価値、社会価値、環境価値の3つの価値のバランスをとりながら向上させることを基本とし、持続的なまちづくりにおける社会基盤整備事業を官民共同出資による事業を展開させる目的で、浦添スマートシティ基盤整備株

式会社を去る8月に設立いたしました。設立目的を踏まえ、本市は今年度2回に分けて2億円を出資及び増資し、それに伴い、沖縄振興開発金融公庫の早期の出資も実現可能となり、さら

には地元金融機関も出資の検討を示し、分散型エネルギー、インフラ整備による駅周辺開発事業に大きな期待を寄せているものと考えている。また、当該地区内の各施設に電力、冷熱、温熱等を供給する事で、CO₂P21において採択されたパリ協定に基づく日本のCO₂削減目標に対して、本市のまちづくりとして貢献し、温室効果ガスの排出量やエネルギーコストの低減化も図られる見込みとなっている。



銘苅 良二

- 西海岸の開発について
- 少子高齢化対策について
- 地域再生の取り組みについて



録画映像はこちらから

議員 経済効果について

西海岸開発局長 本市の西海岸は、優れたアクセスを持つポテンシャルの高い立地特性を持った区域である。那覇港浦添ふ頭の機能拡充を進めながら、人流、物流の活性化を目指す。

議員 企業誘致等について

西海岸開発局長 第1ステージの商業施設誘致を先導に、経済振興による就業と雇用場の確保され、市民の最大化を図る。

議員 児童センターについて

福祉部長 各小学全てに設置し地域やPTA、学校とも連携を図りながら、児童のクラブ活動や行事、食育や学習支援、子ども食堂などの取り組みを行っている。

議員 子どもの居場所について

福祉部長 未就学児の親子が気軽に参加できる子育て

支援センター、年齢にかかわらず地域の子どもの居場所である児童センター、小学生の放課後の健全育成を担う学童クラブがある。

議員 高齢化対策について

福祉部長 本市の高齢化率は平成28年10月末現在17.5%。高齢者が生き生きと生活できるように環境づくりを行うため、買い物弱者の交通手段の確保や、多発する高齢者による交通事故等、これまでに想定してこなかった新たな社会問題も発生しており、その対応策の支援をしていく。

議員 地域再生を伺う。

市民部長 自治会活動は、地域の祭り地域の安全対策や伝統芸能の継承、子供達の居場所づくり及び防犯灯の設置など多岐にわたる。引き続き自治会への支援をし、住民によるまちづくりを取り組む。

仲程 淳也



○LED調査費の目的及び設置に関する基本的な考えとその時期について



←録画映像はこちらから

議員 LED調査費の目的及び設置に関する基本的な考えとその時期についてお答え下さい。

市長 一括交付金での採択があり、本議会提出の補正予算にて財源を組み替え、調査を行います。3月までには完了する予定であります。導入調査により市内の既存防犯灯をLED防犯灯へ切り替えた際の具体的な温室効果ガスの削減目標を設定し、市民生活の環境配慮型ライフスタイルへの転換を目指すため、現況調査を行うものであります。

削減効果が大きい水銀灯を優先して切りかえていく方針でございます。

議員 LEDに変えることによって自治会の運営費にものすごく影響がでてきます。運営が楽になるという意味では、LEDに早急に変えていただきたい。

宮里 弘和



○当山小学校の過大規模解消 ○検討委員会の状況について



←録画映像はこちらから

議員 当山小学校過大規模解消検討委員会の状況を伺う。

教育部長 検討委員会は、当山小学校の将来推計を精査し、過大規模解消検討報告書の素案をまとめ、分離新設は望ましいと認識する。

議員 松本哲治市長が住民との意見交換会で明らかにした。と新聞報道がある。幹部会議で決定した内容を伺う。

教育部長 若干の字句の訂正が出ている。整いつた次第長会議で報告する。

議員 教育委員会会議で分離新設をする方針で承認を得た。市の幹部会議で決定するのは何月頃か伺う。

教育部長 過大規模解消策について検討してきた。分離新設が望ましいと方向性が示された。今後の分離新設が可能かどうか、土地、財源の問題が整いつた次第、市

長と総合教育会議の場で協議され、最終的に決定される。

議員 小学校の教育環境整備は大変優先される内容です。分離新設を正式決定し、用地の選定も地元では話し合うきっかけになる。3年半で進捗が見られない、ぜひ力強く取り組むべきだ。

教育部長 あらゆる手段を講じて課題の解決にあたる。

議員 当山小では音楽教室、図工準備室等を改築し普通教室を準備している。過大規模校の場合は施設整備に補助事業はできないと理解するが、改築の予算を伺う。

教育部長 補助事業が活用できないため一般財源で講じている。

議員 過大規模解消は喫緊の課題だ。適切な時期に父母に説明する時期を伺う。

教育部長 予算の裏づけをとって地域住民へ説明する。

西銘 健



○水道会計は30億円の現金預金。水道料金の引下げ ○質問に「料金を検討する」と部長答弁 ○国保税・介護保険料の引下げを ○子ども医療費を中学卒業まで窓口無料に



←録画映像はこちらから

議員 市議団は昨年11月国会議員、県議と政府要請を行った。沖縄戦の犠牲で前期高齢者の少ない沖縄県に国保事業への交付税が少な

い不利益に対する財政措置を求めた。国保世帯の65%が生活保護基準以下の所得。高すぎる国保税の引下げを

健康部長 引下げは厳しい

議員 子ども医療費を窓口無料にすると政府が交付金をカットするペナルティーの廃止も要請し、12月に結論を出すと回答した。中学卒業まで子ども医療費を窓口無料にすることについて

福祉部長 年末に国の考え方が示されたら、県の補助金交付要綱の改正が検討される。県の要綱に基づいて事業を実施していく。

議員 住宅リフォーム助成制度の具体策を伺う。

議員 住宅を含む住宅が助成対象。水道会計は毎年黒字を積み上げて30億円の現金預金がある。水道料金を引き下げるべき。

水道部長 料金を検討する

議員 シーサー通りの信号機設置を急ぐこと

市民部長 今年度内に設置

議員 公約破りの軍港受け入れを撤回、西海岸の埋立てをやめ牧港補給基地の早期無条件全面返還を求めよ

市長 本当は共産党は、那覇軍港の浦添移設を阻止する意図はなく埋め立ても認めているのではないかと

伊礼 悠記



- 幼稚園3年保育が平成29年度2園でスタート。
- 一部償還免除の奨学金制度が実現。
- こどもの医療費、窓口支払いゼロの実施を検討。
- 軍港の受け入れ撤回を強く求める



録画映像はこちらから

議員 幼児教育の3年保育を実現することについて。**議員** 当山小学校の分離新設を早期に実現すること。**指導部長** 平成29年度より浦添、牧港幼稚園の2園でスタート。順次実施園を増やしていく計画である。**議員** 場所はいつまでに決めるのか。**議員** 本務教諭の増員、臨時教員の処遇改善を。**指導部長** 関係課と調整、連携していく。**議員** 返済のいかない給付制の奨学金制度を創設することについて。**指導部長** 次年度より保育士奨学生を創設し、一部償還免除のある奨学金制度の開始を予定している。**議員** 子どもの医療費を病院も中学卒業まで完全無料にし、窓口での支払いゼロを実現することについて。**福祉部長** 窓口払いをなくすことについて、県要綱が改正が検討されることとなっている。今後、県の要綱に基づいて実施していく。**議員** 待機児童ゼロ実現へ保育所の新増設や保育士の正規雇用増やし、非正規の賃金引き上げを。聴覚障がい者の社会参加と情報保障を。性の多様性の尊重を。年金制度の改悪中止を。社会福祉協議会の補助金増額を。軍港受け入れ撤回を。**議員** 梅雨、台風前に工事完了を。住民への説明会を都市建設部長 今月内に地域住民説明会を予定。**議員** 待機児童ゼロ実現へ保育所の新増設や保育士の正規雇用増やし、非正規の賃金引き上げを。聴覚障がい者の社会参加と情報保障を。性の多様性の尊重を。年金制度の改悪中止を。社会福祉協議会の補助金増額を。軍港受け入れ撤回を。**議員** 茶山団地の土砂災害早急な工事を求める。**都市建設部長** 平成29年6月頃の工事完成を予定。**議員** 現場を確認して大変危険性は感じている。対策を年度内で実施する予定である。**議員** 市民からの声で、早急に体育館の建て替えをしていただきたいとの要望について**議員** 浦添高校周辺の道路・暗く危険**議員** 浦添高校周辺の道路・暗く危険**議員** 浦添高校周辺の道路・暗く危険**議員** 浦添高校周辺の道路・暗く危険**議員** 浦添高校周辺の道路・暗く危険**議員** 浦添高校周辺の道路・暗く危険**議員** 浦添高校周辺の道路・暗く危険**議員** 浦添高校周辺の道路・暗く危険**議員** 浦添高校周辺の道路・暗く危険

護得久 朝文



- 宮城小学校近くの小湾川沿い事故が多い
- 体育館の建て替えについて
- パークゴルフ、ゲートボール場について
- テニスコートについて
- 浦添高校周辺の道路・暗く危険



録画映像はこちらから

議員 宮城小学校近くの小湾川沿いの宮城17号線、宮城7号線交差点、事故多発対策について**議員** 現場を確認して大変危険性は感じている。対策を年度内で実施する予定である。**議員** 市民からの声で、早急に体育館の建て替えをしていただきたいとの要望について**議員** 浦添高校周辺の道路・暗く危険

比嘉 譲治



- 海浜公園計画事業について
- 「里浜条例」の検討状況について
- カーミージー隣接私有地へのリゾートホテル建設計画について



録画映像はこちらから

議員 海浜公園計画事業の検討状況と今後の取り組みへの考え方について伺う。**議員** イノソー保全のためには「里浜条例」制定が重要。現在の検討状況を聞きたい。**議員** 本年度より一括交付金を活用し改めて基本計画策定作業を進めている。これまでのまちづくり事業の成果や現在の計画条件の課題抽出・整理、施設計画や管理・運営計画などを検討している。**議員** 以前の計画との違いは何か。**議員** 本年度より一括交付金を活用し改めて基本計画策定作業を進めている。これまでのまちづくり事業の成果や現在の計画条件の課題抽出・整理、施設計画や管理・運営計画などを検討している。**議員** 以前の計画との違いは何か。**議員** 本年度より一括交付金を活用し改めて基本計画策定作業を進めている。これまでのまちづくり事業の成果や現在の計画条件の課題抽出・整理、施設計画や管理・運営計画などを検討している。**議員** 以前の計画との違いは何か。**議員** 本年度より一括交付金を活用し改めて基本計画策定作業を進めている。これまでのまちづくり事業の成果や現在の計画条件の課題抽出・整理、施設計画や管理・運営計画などを検討している。**議員** 以前の計画との違いは何か。**議員** 本年度より一括交付金を活用し改めて基本計画策定作業を進めている。これまでのまちづくり事業の成果や現在の計画条件の課題抽出・整理、施設計画や管理・運営計画などを検討している。**議員** 以前の計画との違いは何か。**議員** 本年度より一括交付金を活用し改めて基本計画策定作業を進めている。これまでのまちづくり事業の成果や現在の計画条件の課題抽出・整理、施設計画や管理・運営計画などを検討している。**議員** 以前の計画との違いは何か。**議員** 本年度より一括交付金を活用し改めて基本計画策定作業を進めている。これまでのまちづくり事業の成果や現在の計画条件の課題抽出・整理、施設計画や管理・運営計画などを検討している。**議員** 以前の計画との違いは何か。**議員** 本年度より一括交付金を活用し改めて基本計画策定作業を進めている。これまでのまちづくり事業の成果や現在の計画条件の課題抽出・整理、施設計画や管理・運営計画などを検討している。**議員** 以前の計画との違いは何か。**議員** 本年度より一括交付金を活用し改めて基本計画策定作業を進めている。これまでのまちづくり事業の成果や現在の計画条件の課題抽出・整理、施設計画や管理・運営計画などを検討している。**議員** 以前の計画との違いは何か。**議員** 本年度より一括交付金を活用し改めて基本計画策定作業を進めている。これまでのまちづくり事業の成果や現在の計画条件の課題抽出・整理、施設計画や管理・運営計画などを検討している。**議員** 以前の計画との違いは何か。**議員** 本年度より一括交付金を活用し改めて基本計画策定作業を進めている。これまでのまちづくり事業の成果や現在の計画条件の課題抽出・整理、施設計画や管理・運営計画などを検討している。**議員** 以前の計画との違いは何か。**議員** 本年度より一括交付金を活用し改めて基本計画策定作業を進めている。これまでのまちづくり事業の成果や現在の計画条件の課題抽出・整理、施設計画や管理・運営計画などを検討している。**議員** 以前の計画との違いは何か。

議員提案で手話言語等コミュニケーション手段の利用促進に関する条例を可決しました。

この条例が制定されたきっかけは、沖縄県聴覚障害者協会から提出された「手話言語法制定を求める意見書の提出を求める陳情書」を採択し、意見書を国に送付したことに始まります。福祉委員会では、浦添市福祉部と指導部から手話に関する取り組みや県内6つの関係団体から意見の聴取の後、条例案を作り、パブリックコメントを経て、平成28年12月定例会で議員提出議案として提出し、可決されました。

その他、12月定例会において可決した意見書・決議もあわせて掲載していますのでご覧ください。

浦添市手話言語等コミュニケーション手段の利用促進に関する条例

手話は、言語である。

言語は、人間が知識を蓄え思考し、お互いの意思疎通を図り、文化を創造する上で必要不可欠なものであり、人類の発展に大きく寄与してきた。

2006年に国際連合総会において、言語には手話その他の非音声言語を含むことが明記された「障害者の権利に関する条約」が採択され、2014年に我が国も批准している。

あらゆる障がいのある人にとって、手話を含めた多様なコミュニケーション手段は、生きる力、そして、情報のアクセスや多様なコミュニケーションの保障は、社会とつながる命綱である。

これらを踏まえ、手話は言語であるという認識に立ち、手話を含む言語、触手話、要約筆記、音訳又は点字等による多様なコミュニケーション手段(以下「手話言語等コミュニケーション手段」という。)への理解を広げ、人々がつながり、地域で支え合い、全ての人の尊厳、権利、自立、あらゆる社会参加が保障された共生社会を実現するため、この条例を制定する。

(目的)

第1条 この条例は、手話は言語であるという認識に立ち、手話言語等コミュニケーション手段の理解及び利用促進を図り、かつ、手話言語等コミュニケーション手段を保障するための合理的配慮や環境整備を図るため、基本理念を定めるとともに、市の責務及び市民の役割等を明らかにすることにより、障がいのある人もない人も共につながり、もって心豊かに暮らすことのできる地域社会を実現することを目的とする。

(基本理念)

第2条 障がいのある人もない人も相互に人格と個性を尊重し合い、手話言語等コミュニケーション手段を利用し意思を伝え合う権利が尊重され、心豊かに共生することができる地域社会の実現を目指すものとする。

(市の責務)

第3条 市は、基本理念にのっとり、市民の手話言語等コミュニケーション手段についての理解を深めるとともに、手話言語等コミュニケーション手段で意思疎通しやすい環境づくりに努め、手話言語等コミュニケーション手段による情報発信及び社会参画を支援するために必要な施策を推進するものとする。

(市民の役割)

第4条 市民は、基本理念に対する理解を深め、市が推進する手話言語等コミュニケーション手段の普及及び利用の促進に協力するよう努めるものとする。

(関係機関との協力等)

第5条 市は、手話言語等コミュニケーション手段に関する施策の推進のため、国、県、他の地方公共団体及び民間の関係団体と連携を行う必要のある施策を実施するときは、積極的に推進するものとする。

(施策の策定方針)

第6条 市は、手話言語等コミュニケーション手段の普及及び利用の促進を図るため、市が別に定める障がい者に関する計画等との調和を保ちながら、次に掲げる事項について、総合的かつ計画的に施策を策定するものとする。

- (1)手話言語等コミュニケーション手段の習得及び取得に関すること。
- (2)手話言語等コミュニケーション手段による情報発信に関すること。
- (3)手話言語等コミュニケーション手段による意思疎通支援の環境拡充に関すること。
- (4)前3号に掲げるもののほか、市長が必要であると認めること。

(浦添市手話言語等コミュニケーション手段施策推進協議会)

第7条 次に掲げる事項について、市長の諮問に応じ調査審議するため、浦添市手話言語等コミュニケーション手段施策推進協議会(以下「協議会」という。)を置く。

- (1)手話言語等コミュニケーション手段に関する施策の評価
 - (2)この条例及び施策の推進方針の内容についての調査及び検討
 - (3)前各2号に掲げるもののほか、市長が必要であると認める事項
- 2 協議会は、委員15人以内で組織する。
 - 3 委員は、手話言語等コミュニケーション手段を利用する当事者代表並びに手話通訳者、要約筆記者、音訳・点字通訳者及び学識経験者のほか、市長が適当であると認める者を委嘱し、又は任命する。
 - 4 委員の任期は2年とし、再任することを妨げない。
 - 5 補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。
 - 6 委員は、職務上知ることができた秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も、同様とする。

(手話言語等コミュニケーション手段推進の日)

第8条 市は、市民の手話言語等コミュニケーション手段に対する関心及び理解を深めるため、手話言語等コミュニケーション手段推進の日を定める。

2 手話言語等コミュニケーション手段推進の日は、毎月第3水曜日とする。

(財政上の措置)

第9条 市は、手話言語等コミュニケーション手段に関する施策を推進するため、必要な財政上の措置を講ずるよう努めるものとする。

(委任)

第10条 この条例に定めるもののほか、この条例の施行及び協議会の運営に関し必要な事項は、規則で定める。

(附則)

(施行期日)

1 この条例は、平成29年4月1日から施行する。

(検討)

2 市長は、この条例の施行の日から3年を経過するごとに、この条例の施行の状況について検討を加え、その結果に基づいて、必要な見直しを行うものとする。

ニコルソン在沖米軍四軍調整官の発言に対する抗議決議

米軍普天間基地所属の垂直離着陸輸送機MV22オスプレイが12月13日午後9時54分頃、名護市安部の沿岸部で不時着したとの報道があった。機体は折れ、大破するという激しい事故であり、県民の命が奪われかねない事態であった。

マスコミ報道によると沖縄県の安慶田光男副知事は、14日に在沖米海兵隊のトップであるニコルソン四軍調整官にオスプレイの飛行停止と配備撤回を求める抗議文を手渡し、抗議したが、その席上でニコルソン氏は「パイロットは住宅、住民に被害を与えなかった。感謝されるべきだ。」と抗議に不満を示したとのことである。

沖縄県民が巻き添えになりかねなかった大事故を起こしたのにもかかわらず、抗議に訪れた安慶田副知事に対し謝罪の言葉もなく、本市議会としても看過することはできない。

よって、本市議会は、今回のニコルソン四軍調整官の発言は沖縄県民を愚弄し、到底許しがたいものであることからニコルソン四軍調整官本人、米国防長官及び駐日米国大使に対し沖縄県民への謝罪を求め、ニコルソン四軍調整官の辞任を強く要求する。

以上、決議する。

平成28年12月14日

沖縄県浦添市議会

宛先

米国防長官 駐日米国大使 在沖米軍四軍調整官

垂直離着陸輸送機MV22オスプレイの不時着事故に関する意見書

米軍普天間飛行場所所属の垂直離着陸輸送機MV22オスプレイが、13日午後9時半頃、名護市安部の沿岸部で不時着した報道があった。機体は折れ、大破するという激しい事故であり、県民の命が奪われかねない事態であった。乗員は5人で、2人がけがをしたもようである。MV22オスプレイは試作段階を含め少なくとも37人が死亡し、25人が負傷している。

沖縄県民は2012年9月にオスプレイ配備反対の県民大会を開催し、2013年には、県内41市町村の首長や議長らが署名する「建白書」で日米両政府に訴えてきた。県民に知らせないまま配備を強行し、事故を起こしたことは県民の命を顧みない横暴な行為であり、断じて許されるものではない。

本市においては、保育所、学校、病院の上空も昼夜を問わず危険な低空ヘリモードで飛んでおり、市民の命が危険にさらされ、平穏な生活が脅かされている。

よって、本市議会は、市民の生命、財産、安全を守る立場から、米軍及び関係当局に対し厳重に抗議するとともに、下記事項を速やかに実現するよう強く要請する。

記

- 1 事故の原因究明を徹底して行い、その内容を県民に公表すること
- 2 沖縄におけるオスプレイの飛行訓練を中止・撤去させること
- 3 実効性のある再発防止策を講じ、全軍に徹底すること
- 4 市民の生命と人権を守るため「日米地位協定」を抜本的に改定すること

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成28年12月20日

沖縄県浦添市議会

宛先

衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 外務大臣 防衛大臣 沖縄及び北方対策担当大臣
外務省特命全権大使(沖縄担当) 沖縄防衛局長

※議員提出議案第14号の抗議決議についての宛先は以下の通り

在日米国大使 米太平洋軍司令官 在日米軍司令官 在沖米四軍沖縄地域調整官 在沖米国防総領事
海兵隊普天間航空基地司令官

子どもの医療費助成への「罰則」廃止と国の制度化を求める意見書

子どもが病気やけがで医療機関を受診すると、医療費の3割(小学校入学前は2割)を自己負担する。この負担が、アトピー性皮膚炎やぜんそくなど慢性疾患で継続的な治療が必要な子どものいる家庭に重くのしかかっている。急に高熱が出たのに手元にお金がなくて病院に行けない事態は、病状が急変しやすい幼い子どもたちにとって命にかかわる問題である。

「お金がなくても子どもが医者にかかるように」と医療費無料化を求める運動が全国各地で巻き起こり、自治体独自の助成制度を導入する動きが広がった。中学3年までの無料化を実現した群馬県では、無料化後、虫歯処置完了の子どもが全国平均を上回った。医療費無料化が所得の違いに関係なく、全ての子どもの健康を守る上で大きな役割を果たしている。経済的負担が軽くなることで病気の早期発見・治療が可能になり、重症化を防ぎ、医療費を抑制している効果も生まれていることは明白である。

ところが、国は、独自に窓口無料化をしている自治体に対し国民健康保険の国庫負担金の減額という「罰則(ペナルティー)」を科し、子育て支援の取り組みを妨げている。全国知事会もこども医療費助成に係る国民健康保険の国庫負担減額措置を早急に廃止することを求めている。

子育て世代を応援する医療費助成は、少子化や地方の人口減少に歯どめをかける重要な制度であるだけでなく、「子どもの貧困」が広がる中、いよいよ緊急課題になっている。

よって本市議会は、国において下記の事項を実施するよう強く要望する。

記

- 1 地方公共団体が単独で行う窓口無料化に伴う「罰則」を廃止すること
- 2 全国一律の子どもの医療費に対する助成制度を創設すること

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成28年12月20日
宛先

沖縄県浦添市議会

衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 財務大臣 総務大臣 厚生労働大臣

第179回浦添市議会定例会議決結果一覧

(平成28年12月定例会)

事件番号	事 件 名	議決結果
議案第82号	浦添市長の退職手当の額の算定に用いる給料月額の特例に関する条例	原案可決
議案第83号	損害賠償額を定め和解することについて	可 決
議案第47号	平成27年度浦添市一般会計歳入歳出決算認定について	認 定
議案第48号	平成27年度浦添市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
議案第49号	平成27年度浦添都市計画土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
議案第50号	平成27年度浦添市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
議案第51号	平成27年度浦添市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
議案第52号	平成27年度浦添市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
議案第53号	平成27年度浦添市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	原案可決及び認定
議員提出議案第10号	浦添市手話言語等コミュニケーション手段の利用促進に関する条例	原案可決
議員提出議案第11号	ニコルソン在沖米軍四軍調整官の発言に対する抗議決議	原案可決
議員提出議案第12号	子どもの医療費助成への「罰則」廃止と国の制度化を求める意見書	原案可決
議員提出議案第13号	垂直離着陸輸送機MV22オスプレイの不時着事故に関する意見書	原案可決
議員提出議案第14号	垂直離着陸輸送機MV22オスプレイの不時着事故に関する抗議決議	原案可決
平成26年陳情第6号	浦添市認可外保育園児の給食費の増額と運営費の助成に関する陳情書	趣旨採択
平成26年陳情第13号	浦添市社会福祉法人保育所運営事業補助金増額に関する陳情	趣旨採択
陳情第8号	「労働安全衛生委員会」の設置を進め、学校現場の労働環境の改善を求める陳情	採 択
陳情第14号	子どもの医療費助成への「罰則」廃止と、国の制度化を求める陳情書	採 択
陳情第19号	浦添市一般廃棄物許可業者公募の陳情	採 択
陳情第20号	浦添西海岸地域へのサンエー進出に伴う事業系ごみ収集運搬業者（一般廃棄物収集運搬業者）の許可について（陳情）	採 択

事件番号	事 件 名	議決結果
議案第65号	平成28年度浦添市一般会計補正予算（第3号）	原案可決
議案第66号	平成28年度浦添市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第67号	平成28年度浦添都市計画土地区画整理事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第68号	平成28年度浦添市公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第69号	平成28年度浦添市介護保険特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第70号	平成28年度浦添市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第71号	平成28年度浦添市水道事業会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第72号	浦添市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	原案可決
議案第73号	浦添市市税条例等の一部を改正する条例	原案可決
議案第74号	浦添市中小企業・小規模企業振興基本条例	原案可決
議案第75号	浦添市保育所設置及び管理条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第76号	浦添市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第77号	那覇広域都市計画事業浦添市土地区画整理事業施行条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第78号	損害賠償額を定め和解することについて	可 決
議案第79号	指定管理者の指定について（浦添市障害児放課後児童健全育成施設ひまわり学童クラブ）	可 決
議案第80号	指定管理者の指定について（浦添市温水プールまじゅんらんど）	可 決
議案第81号	財産の取得について（浦添共同調理場コンテナ洗浄機）	可 決

平成28年

議会活動この1年

(日数及び件数は平成28年1月から12月までの1年間の実数です)

定例会は
年四回
臨時会は
必要に応じて
開かれます。

定例会会期

3月 31日
6月 18日
9月 20日
12月 20日
臨時会(2回)2日

審議

重要な
問題ばかり
です。

市長提出議案88件
議員提出議案14件

その他の会議、視察など

全員協議会 4日
行財政視察
総務委員会 3日間
(平成28年8月1日～3日)
福祉委員会 3日間
(平成28年8月8日～10日)
文教委員会 3日間
(平成28年8月1日～3日)
建設委員会 3日間
(平成28年5月16日～18日)

傍聴人279人

議会では、みなさんの生活に直結した重要な問題が審議されています。市政を身近に知るためにもぜひ議会の傍聴してください。

本会議にかけられた議案はそれぞれの委員会でくわしく審査されます。

総務	5日
福祉	13日
文教	6日
建設	5日
議会運営委員会	22日
西海岸開発特別委員会	2日
米軍基地関係特別委員会	0日
議会改革等に関する調査特別委員会小委員会	8日
(うらそえ市議会だより編集委員会)	11日
一般会計予算審査特別委員会	9日
一般会計決算審査特別委員会	10日

市議会には
次の委員会が
あります。

平成28年は、全国から23自治体の議会から166人の議員等が浦添市へ視察に訪れました。

特別委員会には
必要に応じて
作られます。

議会事務局

請願・陳情

請願・陳情受理件数23件

意見書・決議13件

市だけの努力では解決しない問題は政府や県へ意見書、決議で要請します。

議決されたものは
執行機関へ
送付されます。

執行機関

執行

議会日誌

平成28年

《12月》

1日 第179回定例会～12月20日まで
全員協議会

7日 一般質問～13日まで
議会運営委員会

12日 議会運営委員会

13日 議会運営委員会

14日 議会運営委員会

15日 総務委員会・福祉委員会
文教委員会・建設委員会

16日 議会改革等に関する調査特別委員会

20日 議会運営委員会

平成29年

《1月》

12日 第3回沖縄県市議会議長会事務局長会
(宮古島市)

26日 九州市議会議長会第4回理事会
(霧島市)

27日 うらそえ市議会だより編集委員会

《2月》

15日 第164回沖縄県市議会議長会定期総会
(宮古島市)

16日 議会改革等に関する調査特別委員会

20日 第180回定例会告示

23日 議会運営委員会

27日 第180回定例会招集

※平成29年2月16日現在の日程を掲載しております。

インターネットで浦添市議会のホームページもご覧ください。『<http://www.city.urasoe.lg.jp/gikai/>』